



Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2006-11-30

新しい店の「ナジャ」に行く。

29日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識は0.5秒遅れるので、遡って同時とするように働くという。てんかんの手術で頭蓋骨を切り開いた患者に了解を取った実験で、脳と手先に同時に同じ刺激を与えたとき、手先の方が早く感じるということによって証明されたということだ。麻理は井上病院に行った。朝食中に洗濯した洗濯物をトイレから出て干す。仕事場に行く。昨夜メールした小沼純一さんから返事。野村健太さんからDVDが送り返されてきたので、新たに送るDVDを包装する。蕎麦を茹でてきつね蕎麦にして昼食。麻理が病院から帰ってくる。いろいろな検査をして、結果は後日ということ。自転車で郵便局に行き、野村健太さんにDVDを送る。戻って、詩をプリントして、手を入れて再びプリントして、原稿とする。もう一つ咲いたハイビスカスの花をBlosxomblogに入れる。コーヒーを飲んで庭を眺め、夕刊を見る。ソファで仮眠。書肆山田の一民さんから電話があって、6時に新宿の「New Tops」で会うことにする。5時半に家を出て小田急で新宿へ。高野で紅茶を買って、「New Tops」へ。一民さんに詩の原稿を渡す。暫く話してから、新宿2丁目に新しく店を開いた「ナジャ」へ行く。写真家で造形大の教授の柳本さんたちと北海道の話。柳本さんが帰った後、NHK出版の福田さんや河出書房新社の新井さんなどと、一民さんを話の中心にして話す。12時近く「ナジャ」を出て、タクシーで帰宅。麻理は薬を呑んだら、痛みが取れてだいぶよくなったという。林檎、大福半分、薩摩芋半分、煎餅、牛乳。仕事場に行き、「灰皿町blog日記」を書く。

01:21:34 - shirouyasu - No comments

2006-11-29

詩を一編書き上げる。

28日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識は刺激と同時的に生まれるのではなく、現実と少しずれるということが書いてあった。たとえば、青いコートの男を認識して意識するまでには0.5秒くらい掛かるということだ。10時半廻って家を出て、代々木上原から下北沢で井の頭線に乗り換えて吉祥寺へ。「十字式健康普及会」へ行く。20分も待たないで施療して貰って、井の頭線の急行に乗って渋谷に出る。Book1stを覗いてから、東急ハンズに行き、車庫の扉に付ける取っ手を買う。東急本店に行き、煎餅と大福と蜂蜜とハムを買って、タクシーで帰宅。蕎麦を茹でて、昨夜余ったナメコを入れたつゆで野菜天ぷら蕎麦にして昼食。仮眠、テレビの「京都迷宮案内」をうとうとしながら見る。3時過ぎに起きて、コーヒーを淹れて飲む。仕事場に行き、『風を追って』をDVDにダビング。昨日ダビングしたDVDにラベルを貼る。二つ咲いたアマリリスの花をBlosxomblogに入れる。詩に手を入れる。書肆山田の鈴木一民さんに電話して、明日詩を渡す約束する。7時廻って蕪のみそ汁を作って、ほうれん草を茹でて、残っていた大根煮込みご飯で夕食。麻理が気持ちが悪いくらい行って日本語学校から早く帰ってきて寝る。苦しいらしく、明日病院に行くと言っているのが心配。仕事場に行き、詩をプリントして読み直し、更に手を入れて一応完成させる。それから、映像演劇の山崎さんに借りていた『くるみ割り人形』のDVDを見る。寝室に行き麻理の様子を見る。背中を叩いてというので言われたようにする。居間に行き、林檎、薩摩芋半切れ、大福半切れ、煎餅、牛乳。また仕事場に戻り、メールしてから「灰皿町blog日記」を書く。

00:48:52 - shirouyasu - No comments

Navigation

[Previous 月](#)
[Next 月](#)
[Today](#)
[Archives](#)
[Admin Area](#)

Categories

[All](#)
[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』](#) 清水鱗造

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年](#) 清水鱗造批評集 第二分冊

Search

飛沫防止 シールド 各種なら

法人は1,000
円以上で送
料無料（一
部商品除
く）定番品
か
品
て
チ

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他
の人と共用する

ログイン

Powered by



2006-11-28

プログラミング言語「Ruby」の入門書を買ってしまう。

27日の朝は、車庫の扉の鍵をつけるために鍵屋さんがきたので、急いでトイレでは『脳と意識の地形図』を読まなかった。自転車で小林医院に行き診断して貰って処方箋を貰う。慶応堂で薬を処方して貰い、その間に文教堂に行きコンピュータの本を見ていたら「やさしいRuby」という入門書があったので買ってしまう。先日その言語を発明したまつもとゆきひろ氏のことが朝日新聞に出ていたのを読んだからと、灰皿町の管理者の清水鱈造さんがRubyをやっているとBlogに書いていたから、興味をそそられた。MacOS Xのターミナルで出来るからということもある。パルケで南瓜やカレーの食材などビニール袋三つほどの買い物して帰る。鍵の取り付けが終わった後、買ってきたかき揚げで天ぷら蕎麦を麻理が作って昼食。Blosxomblogに[二つ咲いたハイビスカスの花](#)を入れる。仮眠、うとうとしながらテレビの「京都迷宮案内」を見る。コーヒーを淹れて飲む。仕事場に行ってmixiやメール。4時過ぎから南瓜を煮る。続けて薩摩芋を蒸かし、ナメコのみそ汁も作る。夕刊を見る。仕事場に行き、昨日書いた詩に手を入れる。その詩に出てくる川角村を流れる越辺川の名前などをWebで調べる。7時過ぎて、麻理が用事に出た後、南瓜とみそ汁と昨日の大根の炊き込みご飯で夕食。食後また仮眠。寝ている間に、野村健太さんの要望に応じて『比呂美 一毛を抜く話』をDVDにダビングする。続けて『眺め斜め』と『荒れ切れ』も。それと平行して、詩の手入れ。昼間買ってきた「やさしいRuby」を見て、Macのターミナル上でプログラムの第一歩の「Hello, Ruby!」を実行してみる。ダビングが終わってラベルを作る。居間にいって、林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。それから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:20:54 - shirouyasu - No comments

2006-11-27

大根とあぶらげの炊き込みご飯を作る。

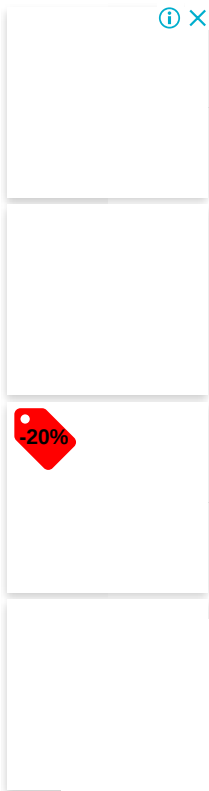
26日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、視覚認識に穴があるように、時間意識にも穴があると書かれていた。居間に掃除機を掛ける。mixiを見てメールに返事。「焼夷弾」の「夷」の字を「大字源」で見たり、「米軍が記録した日本空襲」という本を見たりする。麻理が煮込み蕎麦を作って昼食。4時頃から、先ず大根とあぶらげの炊き込みご飯を作り、先日買ってきたいわしのつみれと大根を煮る。それから、大相撲の千秋楽のテレビ中継を見る。仕事場に行き、[家の中に入れたハイビスカスの蕾](#)をBlosxomblogに入れる。麻理が出かけた後、7時過ぎて豆腐のみそ汁を作り、大根の煮付けと大根の炊き込みご飯で夕食。寝室のベッドに横になって、NHK大河ドラマ「功名が辻」と、続けてNスペ「トヨタ 世界一への条件 ～グローバル企業の苦闘～」を見る。風呂に入る。林檎、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に行き、詩の一つ書く。それから「灰皿町blog日記」を書く。

01:55:29 - shirouyasu - No comments

2006-11-26

八王子学園都市大学で詩の講義 3回目最終回。

25日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「盲視」のようなことは他の感覚でも起こると書いてあった。何となく居心地悪いとか、何となく気持ちが惹かれるとかいうのは、意識を飛び越した感じとして「盲視」のような働きと考えられるという。庭を撮ったminiDVの、今年の分のテープを次回作品のために整理する。蕎麦を茹でて、厚揚げ煮込み蕎麦を作って昼食。[ようやく咲いたアマリリスの花](#)をBlosxomblogに入れる。八王子学園都市大学で詩の講義のために先週プリントした「曲腰徒歩新聞」の昨年の8月15日と28日に記事を読む。そこに昨年の「現代詩手帖」8月号の「戦後60年<現代詩>再考」の座談会の要約と感想が書かれて



いる。ちょっと仮眠。4時頃家を出て、小田急で新宿へ、中央特快に乗り換えて八王子へ。国分寺まで座れない。八王子で下りて、改札を出て、早すぎたのコーヒーでも飲もうかと思って、エスカレーターで下っていたら、歩いて階段を下りていた海老塚耕一さんに声を掛けられる。偶然の出会いだった。今日の講義を一緒にやることになっている。東急スクエアの喫茶でコーヒーを飲み、今日の授業の進め方の打ち合わせする。6時から八王子学園都市大学の授業。今日は海老塚さんと対談形式でやる。「戦後60年<現代詩>再考」の座談会の要約をもとに、発言者の問題提起を海老塚さんとわたしとで検討していくという形を取る。メディアと詩との関係から、詩人を演じる詩人といったようなことを話した。海老塚さんの意見は、詩が一般の人に読まれないのは、詩人たちが詩と向き合っていないからではないかという意見を述べた。詩人は自分の詩が読まれるように読み方を示して働きかけるべきだというのがあった。7時半に終わって、二人で下の「六味食堂」でビールで乾杯した後、二人で話しながら食事。わたしは牡蠣フライとライスを食べた。8時半過ぎに八王子の駅で別れて、わたしは快速で新宿に戻り、小田急で帰宅。林檎、一口羊羹、煎餅、牛乳。夕刊を見る。仕事場に行って、メールやmixi、それから「灰皿町blog日記」を書く。

00:16:20 - shirouyasu - No comments

2006-11-25

neoneo坐に「中島崇作品集」を見に行く。

24日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、見えないのに見えると思いきこんでいる「アントンの錯覚」とその対局に当たる「盲視」のことが書いてあった。「盲視」というのは脳の「第一視覚野」に損傷が生じた人が、見えない、つまり見た意識がないのに、動きや輪郭が見えてしまうというか、感じることで、飛んでくる弾丸を見たという意識無しに正確に身を避けるという。野村健太さんのBlog「[みみのまばたき](#)」に、お貸ししたDVDによって見たわたしの4作品『日没の印象』『草の影を刈る』『15日間』『野辺逃れ』の感想が載っていたのを読む。昨日麻理が貰ってきた花束をBlosxomblogに入れる。野村健太さんがもっとわたしの映像作品が見たいと書いてあったので、『あじさいならい』をDVDに焼く。麻理と天ぷら蕎麦で昼食。食後仮眠した後、『内面のお話』『極私的にEBIZUKA』をDVDに焼く。コーヒーを淹れて飲みながら大相撲中継を見る。夕刊を読んで、6時前に大根の煮付けとみそ汁で早めの夕食。6時廻って家を出て、地下鉄で新御茶ノ水で下車してneoneo坐へ行く。映像作家の嶋田君と久しぶりに会う。7時半から「中島崇作品集」の上映として、8ミリの『南岸沿』(1971年)『サンセット』(1972年)『セスナ』(1974年)『UP-STAIRS』(1979年)『7つのサイン』(1979年)『捜査』(1984年)の6作品と、ビデオの『埋もれた話』(2003年)が上映された。手触りのある、無償の映像を楽しめた。終わって、中島さんとアーティストの岡田裕子さんのトークがあって、例によって佐々木さんの料理でビールやお酒を飲んでの懇親会となった。隣の席の映像作家の居田伊佐雄さんや前の席の映像作家の中村雅信さんとは何年振りかで会話を交わした。11時に席を立って地下鉄で代々木上原に戻り、帰宅。居間で林檎、大福半分、茶まんじゅう半分、牛乳。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:17:17 - shirouyasu - No comments

2006-11-24

シャロン・ロックハート作品『GOSHOGAOKA』を横浜美術館に見に行く。

23日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、見ている積もりで見えてない、ということは、金持ちが銀行に預金を持っているということと似ていると書いてあった。お金を実感するには札束に触れることが必要であるように、見ることを

実感するには顔を動かし視線を移動させることで見るという実感が生まれるということだ。[一月前から咲き続けている野々歩たちが持ってきた花](#)をBlosxomblogに入れる。12時頃、家を出て地下鉄で渋谷に行き、東横線の特急でみなとみらい下車。横浜美術館へ行く。先ず「cafe小倉山」に行って「パストラミビーフサンド」というのをコーヒーで食べる。それから「アーティスト・イン・ミュージアム横浜2006」で、石田尚志さんが『生成する壁』を制作している館内のスタジオに行き、面会して、作品の現場を見せてもらってちょっと話す。壁にブルーの綺麗な波が描かれていた。1時半廻って、レクチャーホールに行き、2時からシャロン・ロックハート作品『GOSHOGAOKA』の上映を見た。この作品は、シャロン・ロックハートが1997年に「アーティスト・イン・レジデンスプログラム＝アークスプロジェクト」で茨城県守谷市に滞在して、御所ヶ丘中学校の女子バスケットボール部の生徒たちの練習の動作を、振り付け師のスティーン・ギャロウェイの振付で、鈴木達夫が撮影して作られた。体育館の赤い幕が閉じられた舞台を背景にした固定カメラの前で、25人の生徒たちが練習の動作を順次行っていくのを10分間ずつ連続撮影した六つのパートからなる作品だった。バスケットボール部の練習を、練習のドキュメンタリーではなく、その動作を素材にしてコンテンポラリーダンスとして捉えて、ダンスイメージとした作品といえよう。横浜美術館がこの映画を買い入れてあったので、「アーティスト・イン・レジデンスプログラム」を考えるための上映となったということ。映画の上映の後、横浜美術館学芸員の松永真太郎さんとアークスプロジェクトディレクターの帆足垂紀さんの、この作品についてのトークがあったが、そのとき10年前にこの作品に出演した数人の女性たちが会場に来ていて、当時はこの映画について全く理解していなかったと話していた。まあ、彼女たちにとっての練習がシャロン・ロックハートにとってはダンスなのだから、大きな行き違いがあったということだ。4時半に終わって、その後の交流パーティには出ないで、能瀬大助君に挨拶だけして、暗くなった美術館の外に出た。みなとみらい4時38分発の東横線の特急に乗って渋谷へ、渋谷から地下鉄で代々木上原へ戻って、構内の出店で茶まんじゅうと大福を買って帰宅。茶まんじゅうを嚙って、直ぐに米をといでご飯を炊き、メカジキと大根を煮て、ほうれん草を茹で、みそ汁を作って、7時には一人で夕食。食後、mixiなど見て、眠くなって寝室のベッドで仮眠。眠ってしまい、目が覚めたら、11時前だった。その間に麻理が疲れたと言って帰ってきた。居間で林檎と大福半分食べ、牛乳を飲む。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:37:29 - shirouyasu - 1 comment

2006-11-23

多摩美生涯学習講座「新しい詩の書き方を探そう」の今期最終回。

22日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、視覚認知の意識は壮大な幻影だと書いてあった。見ているようで実は見てないというのだ。自転車で銀行に行って現金を引き出し、郵便局に行って推薦状をエアメールで送り、年賀状を300枚買う。パルケに行って大根とメカジキなど買って帰る。[咲きそろってきたカニサボテンの花](#)をBlosxomblogに入れる。講座「新しい詩の書き方を探そう」で「詩の構想」ということを話そうと思い、タイプの違うわたしの詩を三つ選んでテキストにして、事務局の石井さんにメールで送って、プリントを頼む。カレー蕎麦で一人で昼食。1時間程仮眠。起きてコーヒーを淹れて飲む。同人誌「あすら」に載っていた野村尚志の詩を読む。5時過ぎて家を出て、中学校のところまで行って忘れ物をして引き返す。再び家を出て地下鉄で表参道と二子玉で乗り換えて上野毛下車。「さくら庵」で親子丼を食べる。多摩美へ、映像演劇学科に顔を出してから、生涯学習センターへ行き、7時から、「詩の構想」ということ、それは「詩の発想の時点で作者を介して現実と結びついていた言葉が、何回も書き直しているうちに、言葉自体の世界が出来てくる。その時に、個々の言葉が形成している作品全体の意味合いを考えるとというのが詩の構想といえる」というような話した後、参加している人たちの詩を講評する。8時半ちょっと廻って終わり、上野毛駅前の「やるき茶

屋」に行って打ち上げ。ビールと豆腐たちり鍋などでいろいろと話す。わたしはせっかくここまで書くようになったのだから同人誌を作ったらと提案した。11時に散会。わたしはタクシーで帰宅。林檎、一口羊羹、煎餅、牛乳で夕刊を見る。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

01:11:31 - shirouyasu - No comments

2006-11-22

今日は、「十字式健康普及会」へ行く。

21日の朝は、急いでいてトイレでは『脳と意識の地形図』を読まなかった。10時半前に家を出て、代々木上原駅まで自転車で行って、小田急で下北沢乗り換えで吉祥寺下車。「十字式健康普及会」へ行く。青山病院の痛み止めが効いていて痛くはないが、階段をささあーっと上れない位に右脚に力が入らないので、「精神的エネルギー」を込めてもらいに行くということ。東洋と西洋の両方に医学で直そうというわけ。患者が少なく20分ぐらい待って施療して貰い、12時発の井の頭線の急行に乗り、下北沢から代々木上原へ戻る。自転車で教文堂に行って、大根と蕪の料理の本を買う。文房具店でエアメールの封筒と厚い紙のプリント用紙を買って帰る。玄関の前辺りの道路の枯れ葉を箒で掃く。この前書いた推薦状をプリントして、サインして、エアメールの封筒に入れて、明日出すことにする。カレーで昼食。テレビの「京都迷宮案内」の再放送を見ながら仮眠。橋爪功が演じるぐうたら記者が気に入っている。大相撲の幕下の取り組みをちょっと見て起きる。コーヒーを淹れて飲む。仕事場に行って、Blosxomblogに[顔を出したアマリリスの蕾](#)を入れてから、台所に戻って、買った本に書いてあった蕪と昆布の即席漬けを作る。夕刊を見ながら大相撲の中継を見る。魁皇。栃東など一敗の大関たちが皆負ける。仕事場に下りてメールの返事など。麻理が帰ってきて、一緒にカレーで夕食。蕪の即席漬けはうまく行った。かぼすを絞ってかけると一層美味しかった。風呂に火を付けて、また仕事場でmixiを見る。風呂が沸いて入る。居間で林檎、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:03:02 - shirouyasu - No comments

2006-11-21

青山病院の整形外科に行く。

20日の朝は、7時過ぎに起きて朝食を食べて、トイレに行って読んだ『脳と意識の地形図』には、重傷の脳卒中で失明した患者が自分は目が見えると主張することがあるが、それは視覚の認識が記憶に頼るところが大きいことを示していると書かれていた。膝と腰の痛みがひどく、麻理に病院に行った方がいいと言われて、8時半前に家を出て、坂の下でタクシーを拾って青山病院へ行く。予約無しで行ったので、予約の人を優先するため、順番が後になり、10時過ぎに診察して貰い、膝と腰のレントゲンを撮り、もう一度診察して貰って、腰椎の変形に神経が押されているという診断で、痛み止めと薬と血行をよくする薬とビタミンB12を飲むことになった。11時過ぎに診察を終え、近くの薬局で薬を買って、宮益坂のオフィスデポでノートなど買って、駅前の平野屋で鴨の浸け蕎麦を食べ、タクシーで帰宅した。薬を飲んで仮眠。3時過ぎに起きたら、痛みは引いていた。コーヒーを淹れて飲む。仕事場に行ってメールを見て、[カニサボテンの花](#)をBlosxomblogに入れる。それから、カレーをを作り、一人で夕食。大根を茹でて、砂糖をちょっと入れて甘くした味噌を付けて食べたら美味しかった。食後、仕事場でmixiや「Zouhai_10000pages」など見る。またWeb検索で自分の名前を引いて見たりする。それから、海老塚さんにHP更新の手順をメールする。居間に行って、テレビ見ながら、林檎、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

00:24:46 - shirouyasu - No comments

2006-11-20

STスポット横浜で、「ラボ20#19」に出た「小指値」を見に行く。

19日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「意識」は目が捉えたものを実はほとんど見てないということが書いてあった。遅く起きたので朝食を食べてトイレから出たらもう12時近かった。脚が痛いので行くのをどうしようか迷っていたが、12時半頃家を出て、「小指値」を見にSTスポットに向かう。地下鉄で渋谷へ、渋谷から東横線で横浜へ。横浜駅西口は初めてなので、迷いながら地下のそば屋でざる蕎麦を食べ、高島屋の5階でトイレを借り、雨の中を歩いてSTスポットへ行く。多摩美の2年生の白井君がいて、自動販売機の前に卒業生で、「小指値」の北川さんの相棒の、ロックミュージシャンの小玉君がいた。野上さんの予約で切符を買って並ぶ。篠田千明さん、野上さんも現れてここに。3時前に開場、腰掛けクッションの間隔が狭く、膝の痛いわたしには苦痛なので、一番前の一番端の片足を伸ばせる席を小玉君に譲って貰う。桜井圭介がキューレートした「ラボ20#19」は3時15分から始まって、6時までの3時間、10分の休憩を2度挟んで、8つの演目が演じられた。そのうち5つがソロのダンス、2つがデュオ、1つが「小指値」で5人のグループ。一つの演目がだいたい15分。コンビニで買った牛丼を食べて見せてから、身体を震わせたり、うさぎ跳びをやって見せるというものや、二人で組になって、身体を使ってあやとりをやって見せるものや、男と女が向かい合ってオセロゲームしているうちに、男が考えている間、女が林檎を食べたり、ひっくり返ったり、股を広げたり、交響曲に会わせて手淫のような仕草をしたりするものなどがあった。わたしには、「小指値」の、母親の捨て子され、育ての親の祖父さんを介護し、海外協力隊になっていろいろな人種の子を産んで、世界の母になるという女の31年の人生の物語を、天野史朗、篠田千明、中林舞、山崎皓司、池野拓哉の5人がダンス的アクションをしながら語り継いでいく「I wanna be machine,but.....」という出し物が一番面白かった。5人が揃ってやるアクションがぴったり合うところ、言葉がアクションを呼び出すというところ、そこが面白いのだが、やって見せるというところに閉じていて、見る方に攻めてこないのは、物足りなかった。もう一つ、佐藤想子という人の、若い女性の自分の部屋の中で時計や置物の塵を拭き取る仕草や、電車の中でノートするというような仕草から、感情があふれ出てくるようにダンスが展開する「ミントとウォルター」がいい印象だった。終わって「小指値」連中と言葉を交わして、STスポットを出た。出るとき、雨に濡れた階段が危ないと、千明さんと舞さんが送ってくれた。雨の中を高島屋へ行って、またトイレを借りて、地下で迷って、東横線の急行に乗って渋谷の戻った。家の麻理に電話してFoodShowでご飯と惣菜を買って、カレーの食材も買って、タクシーで帰宅。麻理と買って来た惣菜の夕食を食べながら、NHK大河ドラマ「功名が辻」を見た。仕事場に行って、メールやmixiなど。居間に行き、林檎、一口羊羹、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。今日は、Blosxomblogに花を入れる時間がなかった。

00:26:37 - shirouyasu - No comments

2006-11-19

八王子学園都市大学で詩の講義、帰りに「コロガリータ」を買う。

18日に朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、意識の順位の低い方は見逃されてしまう、それを「非注意性盲目」というのだそうで、それを利用したのが手品師だと書いてあった。[木樨の黄葉した葉](#)をBlosxomblogに入れる。三角みづ紀詩集『カナシャル』を読み、一つの詩を引用することにする。先週に引き続き八王子学園都市大学で詩の講義があるので、プリント用に幾つかの詩を一つのファイルにする。蕎麦を茹でて野菜の天ぷら蕎麦にして昼食。食後、テキストのファイルを事務局にメールで送る。それから仮眠。起きて暫くして、4時に家を出て小田急で新宿に行き、JR中央快速で八王子で下車。八王子学園都市大学事務局から教場へ。

鮎川さん、吉岡さん、谷川さんなどの詩を解説。それに三角みづ紀さんの「わたしは彼の無駄である」で始まる詩「しくみ」を加えて解説する。三角みづ紀さんたちの詩の言葉の出所が「文学」でなく「メディア」になっていることで、それ以前の詩とは違う。一種の言葉と表現が転倒した別の表現といえいいのか。7時半に終わって、下の階の先週と同じ「六味食堂」で牡蠣フライとライスを食べる。右膝が痛くなってゆっくりと駅に行く。中央特快で新宿へ。特快は快速より10分ぐらい早く着いた。立川から乗ってわたしの前に座った赤いセーターでグレイのチェックのマフラー、しゃれたバッグを持って五分刈り頭のデザイナー風の男が、紙の箱のチョコレートを食べ始めて、新宿までで箱を空にする。よく見ると箱に「COLOGALITA」と書いてあった。「COLOGALITA」という名前が気に入った。わたしも買って食べたい気がして、脚を引きずって歩きながら新宿駅西口のキオスクを見たら売っていたので買ってしまった。タクシーで帰宅。風呂を沸かして入る。林檎、コロガリータ、煎餅、牛乳。夕刊。コロガリータはチョコレートなのに口の中がひりひりして後を引く仕組みらしい。仕事場に行って「灰皿町blog日記」を書く。

00:51:35 - shirouyasu - No comments

2006-11-18

シアターXでロジャー・パルバース作・演出の二つの劇を見る。

17日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、この本を読んでいるという「意識」のあり方が書いてあった。軽いストレッチ体操をして風呂に入る。カニサボテンを撮る。先週に引き続く「八王子学園都市大学」の明日の講義で現代詩の説明に使う詩を探す。麻理と天ぶらうどんで昼食。[カニサボテン](#)をBlosxomblogに入れる。眠くなって仮眠。3時過ぎに起きてコーヒー。詩の講義用のファイルを仮に作る。5時過ぎに家を出て、小田急で新宿へ、JR総武線に乗り換えて両国で下車。駅近くの喫茶店「ニュー・ストーン」で豚肉のシウガ焼きとライスを食べ、コーヒーを飲む。6時半廻ってシアターXにロジャー・パルバース作・演出『記者たち』と『河原町物語』を見る。『記者たち』は南米の左翼革命が起こる国に滞在するアメリカ人の記者と中国人の記者の話。アメリカ人の女性記者（ふるた こうこ）は革命主義者に同調する考えを持っているが、現独裁者を褒め称える記事を書いている。中国人記者（大谷賢治郎）はアメリカ文明にあこがれながら革命軍を賞賛する記事を書いている。二人は、本心で書いた記事を交換する。革命が起こって、二人は本国のそれぞれの家を交換して、アメリカ人は中国へ、中国人はアメリカへ行くことになるという話。国と個人との思想が違うという構造の組み合わせの面白さというか。『河原町物語』は、ベトナム戦争当時の話で、沖縄で米兵と闘って撃ち殺した経験のある男（長畑豊）が、戦後米兵に娼婦を斡旋して、その相手の米兵の遺産で作った京都の喫茶店で、幼い頃来日したフォークナーに会ったことがあるという女子大生（ふるた こうこ）と休暇でベトナムから京都に来た米兵（大谷賢治郎）とが会い、米兵が女子大生に言い寄り、犯してしまう、それを喫茶店主が間に入って、自分が殺した米兵への償いというように米兵に荷担してしまう、という話。こちら、敵対する国家が個人の心に与える影響を問題にしている。米兵は、アメリカに留学したことがという若い日本の役者大谷賢治郎が演じて、流暢な英語で話すが、その解るところと解らないところが、そのまま伝わって来るのが重く感じられて、その効果が面白かった。9時頃終わって、近くのファミレスでコーヒーを飲んでトイレを使い、来た通りにJRと小田急で帰宅。林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に行って、海老塚さんにHP制作の間違いを指摘したメールを送ってから、「灰皿町blog日記」を書く。

02:18:19 - shirouyasu - No comments

2006-11-17

多摩美に展示されていた魚眼写真をタクシーで持ち帰る。

16日の朝、トイレで読んだ『脳と意識の地形図』には、「意識」は脳の問題としては「むずかしく」、まだ明解な解答はないが、これまで、脳の生理学的側面からとか、哲学的側面からとか、別々に考えられていたものを、両方の側面の橋渡しをして考えてみたいと、この本の方針が書かれていた。日差しの中のcattailとcatを撮影する。上原郵便局に行つての大阪のむけんさんにDVDを送る。文教堂を覗き、近くの文具店で本やDVDを送る封筒を買い、パルケに行つてパンと牛乳と揚げ物と里芋を買つて帰る。麻理と厚揚げ入りの蕎麦で昼食。小沢和史君の『わらってあげる』を「ドキュメンタリー映画論」で見せて話す内容をメモする。[キョットテイルの花と猫](#)をBlosxomblogに入れる。野々歩がネムちゃんを連れて、電気ドリルを取りに来た。眠くて仮眠。ネムちゃんが帰つた後、バレエの『くるみ割り人形』のDVDを見ようとしたが気分が乗らないので、ちょっと見て止める。4時過ぎに家を出て、地下鉄で表参道と二子玉で乗り換えて上野毛下車。駅前の環八に面した酒屋があったところに新しく店を建てて新装開店の「さくら庵」で焼焼き重を食べる。今度は2階が主な客席になったが、膝が痛くて階段が苦手なわたしは狭い1階のテーブルの席を取つて、店の前を通る人や多摩美の学生を見ていた。わたしのことを知っている女子学生がわたしが店の中にいるのに気が付いて、にわかに笑い出して通り過ぎた。店を出るとき、開店記念のしゃれた小皿が二枚入った粗品をくれた。多摩美へ行く。6時からの「ドキュメンタリー映画論」の授業で小沢君の1999年の卒制作品『わらってあげる』をVHSで上映する。見終わつて、内面の問題として、他者には見えない内面を作品化して共有するという話をする。余りうまく話せなかった。授業後、研究室に戻つて、大日方さんとちょっと言葉を交わし、大日方さんは『罐製同棲又は陥穽への逃走』を古本屋で買って持っているという、驚き、加納助教授とは、今度の土日に面接が行われる「自己推薦入試」と「社会人入試」の話をする。それから、映像演劇学科の廊下のギャラリーに展示されていたわたしの魚眼写真が片づけてあったので、タクシーで持って帰ることにして、副手の山崎さんにタクシーを呼んで貰つて、乗せて帰宅。脚腰の痛みがひどくなったので、麻理に腰の辺りにお灸を沢山据えて貰う。林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。仕事場に行つて「灰皿町blog日記」を書く。

00:03:18 · shirouyasu - No comments

2006-11-16

井の頭公園で50年前を思う。

15日の朝から、リタ・カーター著藤井留美訳養老猛司監修『脳と意識の地形図』を読み始める。監修者の養老猛司氏は、脳の問題には「やさしい問題」と「むずかしい問題」とがあって、「意識」は「むずかしい問題」で解答が一つというわけではないと書いて、西洋では「私は私」ということが問題になるが、養老氏自身は「私は同じ」ということが問題だ、と書いていた。11時半近く家を出て、自転車で代々木上原駅に行き、小田急で下北沢で井の頭線に乗り換えて吉祥寺下車、「十字式健康普及会」へ行く。12時ぎりぎりに受け付けて貰い、1時からということで、井の頭公園に行く。数年前に来たような気もするし、十数年振りの気もする。公園の中の花見茶屋でざる蕎麦を食べて、池の畔のベンチで、高校生の頃、近くの牟礼にあった高校の数学の先生だった高橋先生の家によく来て、井の頭公園にもよく来たことを思い出した。50年前のことだ。脚を引きずるように歩いて「十字式健康普及会」へ戻り、1時から施療して貰う。井の頭線と小田急で代々木上原に戻り、自転車でパルケに行つて子持ちカレイなど買って帰る。仮眠。起きてコーヒーを淹れて飲む。相撲の中継は幕下の取り組み。カレイを煮る。煮崩れて失敗かと思う。夕刊を見る。仕事場に行つて、[メキシカンセージの花のアップ](#)をBlosxomblogに入れる。海老塚さんに「制作ノート」更新の手順をmixiで送る。ご飯がなくなっていたので、炊く。Blog「みみのまばたき」のむけんさんからわたしの映像作品を借りて見たいという「手紙」がmixiで来たので、『日没の印象』をDVDに焼く。麻理が帰ってきて、一緒に夕食。カレイの煮付けが美味しいというので、ホッとす。仕事場に行つて、DVDのラベルを作る。『15日間』をDVDに焼く。居間に行つて林

檜、薩摩芋、牛乳。仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

00:42:56 - shirouyasu - No comments

2006-11-15

残り半分の南瓜を、今日は牛蒡と竹の子と一緒に煮る。

14日の朝、『美を脳から考える』をトイレで読み終えた。美は対象にあるのか見る者の方にあるのかという問いに対して、見る者の脳の嗜好的な選択にあるという結論だった。昨夜書いた推薦文（日本語）を翻訳してくれる人にメールで送る。そばを茹でて野菜の天ぷら蕎麦で昼食。[野ボタンの色変わりした葉](#)をBlosxomblogに入れる。仮眠。そのままベッドで相撲の中継を見る。それからコーヒーを淹れる。夕刊を見る。また相撲を見る。幕内の前半を見てから、昨日の残りの半分の南瓜と牛蒡と竹の子を煮る。相撲の三役の取り組みを見てから、大根の残りを切ってみそ汁の実にする。今日の大相撲は送り出しが多かったな、という感想。また、高見盛のロボットのように相手を土俵の外に運び出す姿が印象に残る。ちょっと早い一人で夕食。寝室に行き、ベッドに横になって、何度目かの天気予報を見て、「クローズアップ現代」の「教育基本法の愛国心」を見る。引き続き、タケシの医学バラエティ番組で「膝の痛みから大変なことになる」を見る。軟骨がすり減って歩けなくなるという、もう既に知っていることだった。その後風呂に入る。風呂から出てちょっと休んで、林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。仕事場に降りて、メールを見てから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:11:00 - shirouyasu - No comments

2006-11-14

南瓜を煮る。

13日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ロールシャッハテストの絵を使ったタキストスコープでの調査では左右の脳の受け止め方がまるっきり違うのがハッキリしたと書かれていた。情緒的に受け止め、それだけ創造的なのが右半球で、左半球は抑制的に働くということだ。気温が低いせいか、[開ききらないハイビスカスの花](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。パルケに行き、洗剤や牛乳やほうれん草などいろいろと沢山買ってくる。蕎麦を茹でて買った揚げ物で天ぷら蕎麦にして昼食。仮眠。仕事場でa letter of some recommendationの下書きを書く。5時過ぎて、ご飯を炊き、南瓜を煮て、大根のみそ汁を作る。相撲の中継を見て、夕刊を見て、7時過ぎて夕食。寝室のベッドに横なる。仕事場に降りて下書きを書き上げて、居間に行く。林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅を食べ、牛乳を飲みながら、「チャップリン世紀を超える」というNHKの番組を見てしまう。「独裁者」のラストは演説だが、そこは兵士たちのダンスシーンだったのが、変えられたということで、チャップリンの弟が撮っていた、そのダンスのシーンの撮影風景の映像が出ていた。また、ルーズベルトは外交を理由に「独裁者」の上映に反対したという。ニューヨークでナチスに賛成する者たちの集会の様子も出ていた。仕事場に戻って、『「80年代地下文化論」講義』をアマゾンで注文して、ついでに「鈴木志郎康」でHatena検索したら、「極私的」という言葉にこだわっている[「みみのまばたき」](#)というBlogに行き着いた。それから「灰皿町blog日記」を書く。

00:45:01 - shirouyasu - No comments

2006-11-13

「DANCE TRIENNALE TOKYO '06」のプログラムを見る。

12日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、健常者の男20人女20人をタキストスコープで調査した結果、形のいいものというような情緒的な、つまり美的なものを対象にした場合でも、左右の脳の認知過程は異なり、男女の間でも異

なるということが書いてあった。[すっかり冬の日差しになった部屋に差し込む日差し](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。海老塚さんのHPの「制作ノート」の更新の手順の始めのところを、海老塚さんにmixiのメールで送る。麻理が厚揚げ入りのつゆ蕎麦を作って昼食。吉増剛造詩集『ごろごろ』の昨日の続きを読む。2時前に家を出て地下鉄で表参道下車。30分ほど時間を間違えたのに気が付き、青山ブックセンターに行って、前に読んだ『脳と心の地形図』の続編に当たる『脳と意識の地形図』と石井達朗著『身体の臨界点』を買う。「DANCE TRIENNALE TOKYO '06」の1プログラムを見るために青山劇場に行く。指定席で前から2列目の19番。3時からギリエルメ・ボテリョ振付ノアリアスの『I want to go home』。舞台に大きなサメの模型が3体置かれて、男女6人のダンサーが幾つかの話しシーンを作って踊る。女を釣り竿で客席からつり上げる男、釣り上げられた女は身体をくねらせて、舞台中を踊り続け、別の掃除男が彼女をどうかしようと思き上げるが手に負えず怒り、女を殴ったりする。また一方では整骨師が男と女の患者を大げさに、また滑稽に施療する。女たちは水着だったり、最後には、指揮棒を持った音が音楽の交響曲を指揮する真似をすると、掃除の男が舞台にバケツで何杯も水を撒くといったほぼ1時間の舞台だった。30分休憩があって、次が近藤良平振付ノコンドルスの『HONEY』。こちらは学ランを着た、太った男や小柄な男を交えた10人の男だけのダンサーが、やや体操っぽいダンスを軸に、セサミストリートをもじった人形劇やアニメの映像を入れ込んだりした幾つもの寸劇で構成するといった舞台だった。面白いといえば面白いが、アホなといえばアホな、バラエティショウという感じだった。笹公人さんの短歌に通じるところあるような気がした。しかし、今日のお客はこの「コンドルス」のファンが多く、手を叩いたり声を掛けたりして盛り上がっていた。5時半に終わって、席を立てて通路を歩いていくと、映像作家の三浦淳子さんとIFの卒業生の木下さんに会って、宮益坂のハンバーガーショップで、わたしはコーヒーを飲んで話しをした。それから渋谷駅前で二人と別れて、わたしは蓬菜亭に行ってヒレカツ定食を食べて、地下鉄で帰宅。寢室のベッドに横になって石田三成が斬首されるNHK大河ドラマ「功名が辻」を見て、引き続きNスペの「マスクの向こうの“ベースボール”〜城島が闘ったアメリカ〜」を見た。その後、薩摩芋を蒸かしながら、『ごろごろ』を読み終えた。悲痛な感じが伝わって来るという印象だった。居間に行って、林檎、蒸かし立ての薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。仕事場に降りて、mixiを見てから「灰皿町blog日記」を書く。

01:12:53 - shirouyasu - No comments

2006-11-12

八王子学園都市大学（市民大学）で「現代詩について」講義する。

11日の朝は朝食を食べる前に、麻理の日本語学校で使う生徒たちの朗読のテープをDVDにダビングし始める。スイッチを入れて朝食。トイレで読んだ『美を脳から考える』には、二つの半球の認識過程が異なるのは、視覚刺激として与える絵柄によるということから、無意識とは一体何かということが問題になると書かれていた。[アマリリスの真っ直ぐな花の茎](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。麻理が出かけた後、煮物の残りのみそ汁で昼食。仮眠。仕事場で吉増剛造詩集『ごろごろ』を読み始める。4時までで三分の二ほど読む。4時半に家を出て、小田急で新宿に出て、JR中央線快速で八王子へ行く。八王子学園都市大学は駅前の「東急スクエアビル」の11階と12階にある。着いたのが5分前でぎりぎりだった。市民大学だが単位が取れるので、学生が多い。話し始める前に、現代詩を読んだことがあるかと問い、手を挙げて貰うと、市民の参加者の男性一人だった。三十数名の若い人は誰も読んでない。谷川俊太郎さんの名前さえ知らない。そこで、持って行った十数冊の詩集や雑誌を掲げて、「現代詩はここにある」と話し始めて、詩集を回覧させながら、「詩は言葉の形を整えるのを楽しみ、言葉に意識を集中させるもので、スポーツ選手が世界新記録を出すと、やったー、ということになるが、言葉の使い方と意味の持たせ方で誰もやってないことをやって、やったー、ということになり、そこに時代精神が現れたもの」ということを1時間半掛かって話した。時代精神というこ

ろで、先日貰って読んだ笹公人さんの歌集『念力家族』を朗読した。終わって、8階の洋食店でキノコソースのハンバーグとライスを食べ、JR中央線快速で新宿まで来て、本が重いので、そこからタクシーで帰宅。疲れたので風呂に入って、林檎、和菓子、煎餅、牛乳。夕刊を見て、仕事場へ。「灰皿町blog日記」を書く。

00:26:29 - shirouyasu - No comments

2006-11-11

八王子学園都市大学（市民大学）の授業の内容を考える。

10日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、瞬間的に視覚的刺激を与える装置のタキストスコープで調査した結果を見ると、「われわれは、まるで心の中に二つの別の認知過程が存在するかのよう、二つの半球によって視覚情報の扱いが異なっていることを知った」と書いてあった。左右の脳は構造は全く同じなのに認知の仕方が違うということだ。右膝の痛みがひどいので、吉祥寺の十字式健康普及会に行く。12時過ぎに行ったら、1時からだということで、待合室で思潮社の「新しい詩人」シリーズの「02キキダダママキキ詩集『死期盲』」を読む。三分の一ほど読んで1時になり2番目で施療して貰う。帰りの井の頭線の車内で卒業生の秋房君と濱野さんから声を掛けられる。代々木上原に戻って、駅に置いておいた自転車でパルケに行き、大根、茹でタケノコ、レタス、生椎茸、パプリカ、イチジク、パン、メカジキ、アサリ、牛乳、かき揚げと野菜の天ぷらなどを買って帰る。麻理が野菜の天ぷら蕎麦を作って昼食。昼食後、庭のアマリリスが花茎を伸ばしてきたので家の窓辺に入れる。[その鉢に咲いているカタバミの花](#)を撮る。海老塚さんに、「HP更新成功おめでとう」のメールをmixiで送る。カタバミの花をBlosxomblogに入れる。それから、大根とタケノコと生椎茸とメカジキを煮る。続けてアサリのみそ汁も作る。夕刊を見て、煮物とみそ汁で夕食。食後、寝室のベッドで仮眠。9時近くまで眠ってしまう。仕事場に行って、明日の八王子学園都市大学（市民大学）の「現代芸術の現在」という講座の「現代詩の行方？詩人として」というタイトルの授業で話す内容を考える。わたしから見た詩というものの現況とわたしの考えを話すしかないわけだが、多分、受講者は現代詩を読んだことも現物を見たこともない人たちだろうと、雑誌や同人誌や詩集の現物を持って行って、「現代詩手帖」の昨年の8月号の特集の感想を書いた[「曲腰徒歩新聞」の記事](#)を軸に話そうと考えた。居間に行って林檎、どら焼き、和菓子、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って「灰皿町blog日記」を書く。

01:03:31 - shirouyasu - No comments

2006-11-10

映像演劇学科授業「ドキュメンタリー映画論」で『生者と死者の通い路』を上映。

9日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、美は対象にあるのか見るものの主観にあるのかという問題から考えるということが書いてあった。多摩美の授業で野田真吉さんの『生者と死者の通い路』をビデオ上映するための資料として、15年前に書いたわたしの批評をパソコンに取り込んでテキストファイルにして、プリントして貰うために副手の山崎さんにメールで送る。その途中で麻理と蕎麦で昼食。テキストを送った後、[小さな鉢に咲いたシクラメン](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。ちょっと仮眠。それから、薦田愛さんの詩集『流離縁起』の始めのところを読む。4時半近く家を出て地下鉄で表参道と二子玉で乗り換えて上野毛下車。幸楽飯店で肉野菜炒めを食べる。6時からの「ドキュメンタリー映画論」で『生者と死者の通い路』を上映した後、この映画のポストモダンの側面を話す。きわめておおざっぱに明治以降輸入された近代主義の文化は60年代に崩れてポストモダンに移行してカウンターカルチャーが生まれてくるが、その底流に日本独自の民衆の文化があった。それは何でも神にしてしまう心、また祖先を崇拝する心

だ。それがマンガやアニメの源泉だ。この映画はその祖先崇拜の構造を鮮やかに捉えている、という話をした。10時過ぎに下校。地下鉄で帰宅。林檎、どら焼き、菓子、煎餅、牛乳。夕刊とテレビニュース。ラムズフェルド辞任。仕事場でmixiやメールを見てから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:02:38 - shirouyasu - No comments

2006-11-09

「新しい詩の書き方を探そう」で書き直し3回目の作品の講評。

8日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、ウェンディ・ヘラーという学者が、子供たちに「幸福の絵」と「悲しみの絵」を描かせたら、幸福の対象となるものは右側に、悲しみの対象となるものは左側に描かれたという報告があると書かれていた。風呂に入る。海老塚さんにHP更新の手順をmixiでメールする。麻理とうどんで昼食。探しもの。「新しい詩の書き方を探そう」の講義メモを生涯学習センターの石井さんにプリントお願いのメールで送る。ちょっと仮眠。目覚めて、メキシカンセージの花を撮ったがBlosxomblogに入れるのを忘れて、暫くして5時過ぎに家を出る。地下鉄で表参道と二子玉で乗り換えて上野毛下車。さくら庵が新装引っ越し中で休み、幸楽飯店も休みなので、「アングルサムズ」というサンドイッチ専門の店に行き、ローストビーフサンドとコーヒー。多摩美生涯教育センターへ行って、7時から講座「新しい詩の書き方を探そう」で、言語表現の中の詩の位置について話す。笹公人さんの短歌を紹介する。それからそれぞれの人の3回目の書き直し作品を講評する。見違えるようになっている。40分オーバーする。お茶を飲んで担当の石井さんと話をして下校。地下鉄で上野毛から二子玉、表参道、代々木上原で下車。歩いて帰宅したが、家に近くなってからの100メートルほどが膝が痛くて辛かった。服を着替えて、腰が痛いという麻理の背中と腰を拳でとんとんと叩く。林檎、どら焼き、菓子、煎餅、牛乳。夕刊。米国の中間選挙は、下院は民主党が過半数獲得。仕事場に行ってmixiを見てから「灰皿町blog日記」を書く。忘れていたのを思い出して、[メキシカンセージの花](#)をBlosxomblogに入れる。

01:05:06 - shirouyasu - No comments

2006-11-08

X・レパトリー劇場第1回作品『カモメのジョナサン』を見る。

7日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、右利きの人は右の目を見た方がいいと思うということのわけとして、右目で見た視野の知覚は左脳が働くのだが、敢えて右脳が補って判断することによるということ、脳は全体的に働くということらしい。昨夜から吹いた強い風のせいで、[庭の倒れていたメキシカンセージの鉢](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。12時半に家を出て、新宿で小田急からJR総武線に乗り換えて両国に行く。いつも食べるそば屋が工事中で、近く中華の店「青葉」で上海焼きそばを食べる。シアターXへ行き、2時からレパトリー劇場第1回作品『カモメのジョナサン』を見る。熱の入った演技だったが、ジョナサンが天国に行って瞬間移動の術を覚える辺りから、わたしにはついていけない芝居として展開していた。4時過ぎに終わって、上田さんに挨拶して帰る。新宿に出て、小田急百貨店で三省堂を覗いて、地下でトマト、ほうれん草、ヒレカツ、コロケを買ってタクシーで帰宅。豆腐のみそ汁を作って、ヒレカツで夕食。食後、仕事場に行って海老塚さんにHPの練習のメールを送る。それから、笹公人さんの歌集『念力家族』を全部読む。大きな活字で1ページ一首という小型の本だが、どんどんページが進むので気持ちがいい。念力というものを持ち出して学園や家族など狭い関係の中の人間たちを詠んでいるのだが、念力を働かせるということがその狭さを際立たせることになっている、と思った。読んで、その狭さに共感して、お礼の代わりに『極私的に遂に古稀』をDVDにして送ることにして、DVDを焼き、手紙と封筒に入れる。居間に行って、林檎、どら焼き、菓子、煎餅、牛乳。それから「灰皿

町blog日記」を書く。

00:33:27 - shirouyasu - No comments

2006-11-07

「Dance Triennale Tokyo 2006」のFプログラムを見る。

6日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』は、「健常人」の美意識を考えるとところに入った。右利きの方は右の目を見た方がいいと思うということらしい。10時半に出かけて、下北沢で小田急から井の頭線に乗り換えて吉祥寺に行く。鈍行に乗って先に付くのは初めてのこと。7日目、「十字式健康普及会」に行く。今日は待つ患者が少なく、直ぐにやって貰えた。右の足腰がまだ力が入らない。11時半に終わって、井の頭線で渋谷に出る。今度も、鈍行で渋谷には後発の急行とほとんど同時に着く。渋谷から銀座線で銀座に出て伊東屋で例年の「NOVA」の日記帳とスケジュール帳を買う。その足でまた銀座線で渋谷に戻り、東横デパートの9階の食堂街のそば屋で「梅おろし蕎麦」を食べる。7階で安売りになっていた木製漆塗りのお椀を2個買い、地下に行って、ハンバーグとサラダなど買って、タクシーで帰宅。家の前に散っている紅葉の枯れ葉を掃除する。コーヒーを飲んで、[庭に繁茂した赤まんま](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。時間が経ち、それからちょっと仮眠。5時廻って、買ってきたハンバーグとサラダと、麻理が炊いておいてくれたご飯で、早めの夕食。夕刊をざっと見て、5時40分に家を出る。地下鉄で表参道で降りて、「Dance Triennale Tokyo 2006」のFプログラムを見るために青山円形劇場へ。もう既に15人余りが並んでいた。5時40分の開場までの20分間立っているのが辛かった。開場してどうにか最前列に席を取れた。ところで、客席に入るとき、舞台を見ると一昨日見たのと同じダンサーがスピーカーボックスに座っているので、瞬間、プログラムを間違えて切符を買ってしまったかと、慌てた。実は、「ダンスが見たい！」で見た今津雅晴というダンサーが外人のダンサーとデュオで踊るので、このFプロを買ったのだった。だから、一昨日見たデノワイエの作品と組み合わせになっているのを見落としていた、というわけ。しかし、解りにくいデノワイエの作品『DUOS POUR CORPS ET INSTRUMENTS』を2度見ることになったのはまあまあよかった。手と脚とで音をハウリングさせるようなことをして、その手と脚を物質的な存在に還元しようと意図しているのかも知れない、と思うようになった。最前列で見たので、一人のダンサーが足首に蝶の入れ墨をしているのを見つけた。今日の目当てだったカナダ人のルイズ・ルカバリエと今津雅晴のデュオ『Cobalt rouge Remix』 Duo 1は見応えがあった。逆立ちしている今津がルカバリエの女王のような衣服の中に潜り込んで、二人ともその仰々しい衣装から脱出して、愛の葛藤と融合の過程を見せるという印象だった。息が合っていた。ルカバリエはもう一つ、エリック・ボーシェーヌという男のダンサーと『Cobalt rouge Remix』 Duo 2 - Lula and the Sailorを踊って、更にソロで『"I" is Memory』を踊った。これは、椅子に置いてある古いトレーナーとスニーカーに身体を入り込ませて、ゆっくりとした身体の動きで記憶を体現して見せ、最後にはそのトレーナーを脱ぎ捨ててテンポを速めて激しく踊って終わった。後半のルカバリエは三つのダンスで1時間30分を踊り続けたということになる。表参道から地下鉄で帰宅。駅から痛む脚をかばって歩いて汗をかき、シャワーを浴びる。林檎、どら焼き、和菓子、煎餅、牛乳。夕刊を読む。仕事場に行って、mixiを見て、「灰皿町blog日記」を書く。

01:12:07 - shirouyasu - No comments

2006-11-06

「DANCE FORUM」シンポジウム『コトバとダンス』に行く。

5日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、脳に障害が起きても作曲などの音楽活動が続ける音楽家と、続けられなくなる音楽家のことが書いてあっ

た。事故で左脳に傷害を負ったラヴェルは作曲が出来なくなったという。[四つのキョットテイルの花](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。12時頃家を出て、「DANCE FORUM」『コトバとダンス』が開催される青山スパイラルのB 1 F「EATS and MEETS Cay」へ行く。1時から、『コトバとダンス』というタイトルで、三浦雅士さんの基調スピーチがあって、副島博彦さんによるダンサーの森下真樹さんへのインタビューと、榎本了壺さんによる伊藤キムさんへのインタビューがあった後、川崎徹さんの司会で貴成人さん、立木あき(火へんに華の字)子さん、歌人の笹公人さんのシンポジウムがあった。最近のダンスにコトバが多く使われる現象を討議しようということだった。小さいときからコトバより先に身体が動いてしまうという森下さんの手や身体を動かしての答え方が印象的だった。三浦さんと榎本さんとは全くの久しぶりの再会だった。二人とも、会場にいるわたしの存在にビックリしていた。シンポジウムの中で読まれた笹さんの短歌「すさまじき腋臭の少女あらわれて方位磁石も狂いはじめる」の一連の作品が面白いと思い、帰りに買おうと思っていたら、終わって、笹さんがわたしのところにやってきて、わたしの詩を読んでいるといい、彼の歌集『念力図鑑』と『念力家族』を贈呈してくれた。帰り、昼を食べてなかったので宮益坂の途中のうどん屋できつねうどん食べた。待つ間に『念力図鑑』の三分の一を読んだ。それから、麻理に電話してから、Book1stを覗いて、東急本店地下で煮物の惣菜とブラックオリーブの缶詰を買って、タクシーで帰宅した。焼きたらこと煮物とみそ汁で麻理と夕食。仕事場に行ってmixiを見てから、寝室のベッドに横になって「功名が辻」の関ヶ原の闘いを見る。ちょっと仮眠。また仕事場に戻って、『念力図鑑』を全部読む。鮮やかな情念の空間がある。居間に行って、林檎、焼き芋、菓子、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:53:09 - shirouyasu - No comments

2006-11-05

「Dance Triennale Tokyo 2006」のEプログラムを見る。

4日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、音楽家の左右の脳の働きが書いてあった。アマチュア音楽家とプロの音楽家とではまるで違うようだ。コードの知覚はアマでは右半球が優位だが、プロでは左右に差がなかったという。米をといで電気釜のスイッチを入れて、自転車で漢方薬局に行ってコンドロイチンとブルーベリーのサプリメントを買い、バルケに行って、パンと牛乳と甘鮭とたらことほうれん草などを買い、薬局で歯ブラシとは磨きを買ってくる。Blosxomblogに[チェリーセージの花](#)を撮って入れる。海老塚さんにHPのファイルの位置関係について書いて送る。茄子のみそ汁を作り、鮭を焼いて、ほうれん草を茹でる。それで昼食。仮眠。7月辺りからの書いてなかった日録を「灰皿町blog日記」を見て概略で埋める。生活を軽く反芻することになったが、今までにない意識を生きている感じがする。ある意味では目標というものの持ち方が違っているのかも知れない。5時過ぎ麻理が帰ってきて、彼女がエリンギを炒めて、一緒に焼いた鮭などで早めの夕食。5時半廻って家を出て、地下鉄で表参道で下車、青山円形劇場へ。ちょっとロービーで待って、開場。「Dance Triennale Tokyo 2006」のEプログラム「遠田誠ノまことクラブ『むつかしはなし』、ダニエル・デノワイエノル・カルデロン『DUOS POUR CORPS ET INSTRUMENTS』(2005)」を見て、アフタートークを聞く。『DUOS、、、』の方は3人のダンサーが手足にマイクをつけてスピーカーボックスの上に座っていて、身体を動かしてハウリングを出すとか、手脚を素早く動かして、また手脚だけの映像を大きなスクリーンに映写したりして、手脚の付いた人体を浮き上がらせるという印象だった。『むつかしはなし』は男3人女1人のダンサーが絵本を、寝ころんだり、逆立ちしたり、素早く相手の本とすり替えたり、というようにいろいろな姿態で読んでみせるというもの。本を読むということにまつわる禁止事項も含めた意識を身体化したと読めた。アフタートークが10時頃終わって、表参道から地下鉄で帰宅。林檎、チョコレート、菓子、牛乳。夕刊。仕事場に行って、mixiを見てから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:41:39 - shirouyasu - No comments

2006-11-04

横浜美術館に石田尚志さんと足立智美さんのパフォーマンスを見に行く。

3日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、左右どちらかの脳に損傷が生じた普通の人はその影響を受けるが、芸術家は一時的に影響を受けてもそれを克服してしまうところから、芸術家の脳は左右の脳の連携が普通の人以上で、損傷を受けなかった方の脳が補ってしまうのではないかと書かれていた。夜見た天才の脳を解明する番組でも、米国の博士が、天才的な人の脳は左右の脳を繋ぐ脳梁が発達していると語っていた。[カタバミの花](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。海老塚さんにWeb用の画像についての説明のメッセージをmixiで送る。残りのご飯をカボチャの煮付けで食べて、1時半に家を出て、地下鉄で渋谷に出て、東横線でみなとみらい下車、横浜美術館へ。今日から横浜美術館の企画「アーティスト・イン・ミュージアム横浜 2006」で、石田尚志さんが『生成する壁』というタイトルで、2007年1月28日まで巨大な壁に線描と餠撮りを繰り返す、という作品の公開制作が始まった。その初日のライブパフォーマンスが石田さんと足立智美さんで行われた。美術館前の回廊に幅2メートル長さ30メートル、もうちょっとあったかな、長い紙を敷いて、その上に石田さんが足立さんの電子ミュージックの即興演奏に合わせてライブペインティングを30分続けて行くというものだった。緊張感とリズム的なアクションが見ていて気持ちよかった。会場の白い壁には青一線から流れた筆跡が描かれていて、綺麗だった。映像演劇学科の木村和代さんがパフォーマンスを撮影していた。卒業生の小林由美子さんと福村桃子さんも見に来ていて、終わってからイメージフォーラムの澤さんも交えて美術館の喫茶店でケーキとコーヒーで懇談した。帰りは小林さんと福村さんと東横線で職場のことなど話しながら渋谷まで一緒。福村さんはコンビニのおばさんに未成年と間違えられたのを喜んでた。二人は同級生の福井さんの誕生パーティに行き、わたしは蓬莱亭に行ってヒレカツ定食を食べた。その後、紀伊国屋を覗いて、笹塚行きのバスで帰宅。麻理に頼まれて、4チャンネルのモーツァルトの天才の脳を解明する番組を録画しながら、先日接続に失敗した「携帯万能17」の接続に再挑戦して、携帯電話専用のUSBケーブルに換えたら、さっと繋がって、なあーんだ、というところ。その後、居間で林檎、パウンドケーキ、煎餅、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:59:29 - shirouyasu - No comments

2006-11-03

多摩美大学大学院生齊藤邦彦君の個展『現像中』のオープニングに行く。

2日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、芸術家の脳内では左右の半球の連携が特に優れているというようなことが書かれていた。ストレッチ体操、シャワー。[あじさいの芽](#)を撮って、Blosxomblogに入れる。海老塚さんにHP制作への道の宿題としてtableタグの実践をやって貰う指示をmixiで送る。メールに返事。麻理と天ぷらうどんの昼食。食後仮眠。ぐっすり眠ってしまう。4時前に起きてコーヒーを淹れて飲む。夕刊を見る。早くも暗くなる。5時半頃家を出て地下鉄で表参道で降りて、南青山のギャラリー「GEM ART」で『海老塚耕一の小さな作品たち』を見る。可愛らしい家の形のものなど100点近い作品がにぎやかに展示されていた。そこから、また表参道に戻り、地下鉄で青山一丁目で大江戸線に乗り換えて六本木下車、芋洗坂のギャラリー「ヴァイスフェルト」に行き、映像演劇学科の卒業生で大学院在学中の齊藤邦彦君の個展『現像中』を見て、オープニングパーティに参加する。印画紙を特殊現像して細かい抽象的な線で埋め尽くされた作品群。幅3メートルの作品などをパーティに来た人たちが次々に買って、10点中8点の作品に赤い印が付けられて行くのを間近に見て驚く。9時頃パーティ終了後、来ていた佃絵梨子さんと寶樂圭君と近くのレストランで食事。オムライスを食べる。後から齊藤君も来てコーヒーを飲む。10時過ぎタクシーで帰宅。林檎、チョコレート

ト、牛乳。仕事場に行ってメールの返事を書き、「灰皿町blog日記」を書く。

00:50:38 - shirouyasu - No comments

2006-11-02

山之内優子さんに会って彼女のビデオ作品『バラ探偵』について話す。

11月1日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、科学者も芸術家も美しいものを追求しているということだが、その美しいものというのが脳内ではどういうものか解っていない、と書いてあった。一ヶ月振りにストレッチ体操を軽くやる。風呂に入る。昨日野々歩が持ってきたマリーゴールドともう一つの花を撮ってBlosxomblogに入れる。海老塚さんにHP制作への道の一步としてWeb用の画像作成の宿題を出す。mixiを見る。メールの返事。帰ってきた麻理とカレーの昼食。2時半に家を出て地下鉄で渋谷へ。そして山之内さんと会うために「セピア」に行く。彼女のビデオ作品『バラ探偵』について話す。山之内さんはバラの花への思い、明治時代に西洋文明を代表するような存在で輸入された花という考え方などを話してくれた。コーヒーを飲んで、3時間ぐらいの談話の後、角煮丼を食べて更に話し、7時過ぎに渋谷駅前の交叉点で別れる。東急本店地下に行って、オリーブの缶詰、林檎、蜂蜜、ロースハムなど買って、タクシーで帰宅。夕刊を読んで、寝室のベッドに横になってテレビドラマ「相棒」を見る。仕事場に行って、javascriptのonMouseoverのテスト。居間に行って、林檎、洋菓子など食べ、牛乳を飲む。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

上の空白をマウスで左右になぞってみて下さい。

01:01:57 - shirouyasu - No comments

2006-11-01

6度目、「十字式健康普及会」に行く。

31日の朝、トイレで読んだ『美を脳から考える』には、「時空間における形・関係・心的表象や抽象の生成は、(破壊的な覚醒昂進に先だって)情動が関わる時に最適となり、おそらくは美的創造が生まれるのはこの最適状態においてであろう。」と書かれていた。なんだかよく分からないけど、情動が関わるということで、右脳の統合が働くということ思う。10時半に家を出て、下北沢で井の頭線の急行に乗り換えて吉祥寺へ。6度目、「十字式健康普及会」に行く。5回までは70歳以上は無料だったが、今日は1000円払った。待っている患者は女性数名、男性2名で女性のグループの後直ぐに施療して貰う。待ち時間を入れて30分も掛からなかつ

た。終わって、先隣の古本屋を覗いて、また井の頭線で12時発の急行に乗り下北沢乗り換えで代々木上原下車。駅前の薬局でビタミンCを買って帰宅。カレーを暖めて昼食。[棕櫚の木の切り口](#)を撮ってBlosxomblogに入れる。ベッドに横になって、テレビの「はぐれ刑事純情派」から次の弁護士ものを見始めたところに、野々歩がネムちゃんを連れて、麻理の誕生日祝いの花を持ってきた。コーヒーを淹れて飲みながら、野々歩と話す。4時過ぎに帰って、「携帯万能17」をMacminiにインストールして試みたが、やはり「USBポートが開けない」で失敗。その後、山之内優子さんのビデオ作品『バラ探偵』を見る。7時過ぎてカレーを温めて、サラダを作って一人で夕食。給料の格差が広がっているのを報じる番組を見て、その後、テレビで時代劇「太閤記」をつけて仮眠。仕事場に行ってみixiなど見る。居間に行って、林檎、洋菓子、煎餅を食べ、牛乳を飲む。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:39:06 - shirouyasu - No comments